

—『キタスカまつり』を終えて—

北部地域住民自治協議会  
副会長 石塚 實

第4回「キタスカまつり」は好天気にも恵まれ、たくさんの方達に来ていただきました。

今年も親子ふれあいの場の提供としてキッズコーナー「まつりでにっこり広場」男鹿水族館から「ふれあい水族館」「不思議画像で目の錯覚体験」、ストラップやカチューシャづくりの「手作りコーナー」などを企画しました。各イベントとも会場に入りきれないほどの人気で大変好評を得ました。

北部地域特産物直売も年を追うごとに盛況で午前で売り切れになるほどの大人気でした。また作品展示・芸能発表などは地域交流の場として活気がありました。

キタスカまつりは4年目を迎え地域の方々に定着しつつあります。

来年は「キタスカ」創立5周年を迎えることとなりますが、今後も皆さまのご協力をいただきながら、より一層盛り上げていきたいと思っております。

キタスカ講演会

『いのちのつながりを考える』

日 時：平成26年3月16日(日)  
午後1時30分～3時

講 師：小松 守氏

(秋田市大森山動物園園長)



まだ雪の残る寒空の中開催された講演会は、およそ70名の方々が来場し行われました。

講演では、動物達の日常生活を紹介しながら、それぞれの命のつながりについて話されました。

また子どものキリン『たいよう』が、義足をつけなければならない状況になっても必死に生きようとしていたこと。

動物も私達人間も「命のつながり・大切さ」について改めて考える機会を与えてくださいました。



自分たちが生きているということの尊さや、家族へのありがたさを感じるができる心がじんわりと温まる講演会となりました。

キタスカ講演会

『しあわせについて』

=あなたの人生の道しるべ=

日 時：平成26年6月7日(土)  
午後1時30分～3時

講 師：袴田 俊英氏

(藤里町 月宗寺住職)



およそ170名の方々が来場し行われた講演会は、藤里町月宗寺の住職で「心といのちを考える会(自殺予防の会)」会長の袴田俊英氏を講師としてお招きし開催されました。

講演の中で、「みんなの無事は私の無事を守る、みんなのしあわせが一人ひとりの幸せにつながる」とお話をされ、自殺率が最も高いと言われる秋田県に、支え合う大切さを教えていただきました。また、どんな些細な悩みでも相談し合ったり、語り合ったりしてほしいと話され深く考えさせられる内容に、来場した方々は熱心に耳を傾けていました。



# 第4回 KITASKA (キタスカ) まつり開催!

9月26日(金)から9月28日(日)の3日間  
延べ来館者数4,179名

## 体育館内のイベント

### ★ 作品展示 ★

絵画や書道など約530点の力作が所狭しと並べられ、来館者のみなさんは目を奪われておりました。



### ★ 北部地域特産物直売 ★

北部地域で作られた米や野菜、巻き寿司などのお惣菜や手作りの工芸品が販売され、あまりの盛況ぶりに午前中で売り切れになりました。



### ★ カブラで遊ぼう & 子ども縁日 ★

魔法の板カブラでの積み木体験。  
子ども縁日は輪投げやヨーヨー釣り、ポップコーンなどの販売に、子どもたちが楽しんでおりました。



## 各部屋のイベント

### ★ ふれあい水族館 ★

男鹿水族館GAOによるふれあい水族館では、ヒトデやウニなどに触れるタッチプールが体験でき、多くの家族連れや子どもたちでにぎわいました。



### ★ 不思議画像で目の錯覚体験 ★

不思議な画像に見入っていました。



### ★ お茶会 ★

毎年大好評の裏千家によるお茶席は、満席になるほどの人気でした。



### ★ 手作りコーナー ★

ストラップやカチューシャづくりは時間がオーバーするほどの大人気でした。

★ 元祖爆笑王トークショー ★

「今だから言えるテレビの裏側」



放送作家の元祖爆笑王氏をお迎えし、AAB秋田朝日放送の「トレタテ」4人のメンバーによるトークショーは和やかな雰囲気の中、放送作家としての仕事や秋田生まれで良かったことなどを参加者からのアンケートに答えながらお話をいただきました。

また芸能界の裏話や、番組が放送されるまでの苦労話などの楽しいトークでした。

最後に番組で使用するカメラを持参され、会場の方々に触れていただきました。

また元祖爆笑王氏とのじゃんけんゲームで、クオカードのプレゼントもあり、会場は大いに盛り上がりました。



★ 芸能発表会 ★

北部地域で活動をしている33団体が出場した芸能発表会では、子どもから大人までの出演者の方々の息の合った素晴らしいダンスや合唱・民謡等に、会場は大きな拍手につつまれていました。

また、昨年から実施したプログラム最後の「全員合唱」は、今年度秋田県での国文祭開催に因って「秋田県民歌」を合唱しました。



★ キッズコーナー ★

『まつりでにっこり広場』

就学前の親子が、思いっきり楽しみました。



★ ヒーローショー ★

『ビートファイターACE』

Aceの活躍に子どもたちが、大興奮でした。



★ 楽しく歌おう ★

『懐かしの歌』

懐かしい歌を口ずさみながら、皆さんで楽しく歌いました。希望者にはカラオケコーナーもあり、来年もぜひという声がありました。



# ～北部8地区歴史探索～

シリーズ第5回 土崎地区



## — 土崎港の生い立ち —

土崎地区町内会連合会  
会長 品田 福 男

土崎港は秋田市北部の地区で単に「土崎」とも呼ばれています。

土崎は雄物川の河口（現在は秋田運河）に位置する港町であります。

もともとは平安時代の蝦夷征伐軍が拠点として築いた秋田城への物資の補給などに利用された港であったと言われていました。

室町時代は海の豪族とも言われる安東氏が湊城を築き、三津七湊の一つに数えられ、江戸時代は佐竹氏久保田藩の藩港であり北前船の寄港地でもありました。

その後1889年（明治22年）には町制が施行され土崎港町として登録され、それが現在の住所の基になっています。また明治以後、周辺では八橋の油田などが開発され、港周辺に日本石油の製油所（現JX日鉱日石エネルギー秋田油槽所）が造られました。

そして1941年（昭和16年）4月、土崎は秋田市に編入され港の名前も土崎港から秋田港に改称されました。

1945年（昭和20年）8月14日の太平洋戦争の末期の午後10時38分に空襲警報が発令され、およそ4時間の間、B29をはじめとした爆撃機132機で、爆弾12,047発が落とされ、民間人91人を含むおよそ250人が犠牲になった土崎空襲の凄まじさは、今に語り伝えられています。

また、重要港湾の秋田港や旧国鉄土崎工場（現JR東日本の秋田総合車両センター）その東側には陸上自衛隊秋田駐屯地があり、土崎は將軍野・寺内・飯島に接しております。

港には1994年（平成6年）4月にはポートタワー「セリオン」がオープンし、翌1995年（平成7年）隣接して屋内緑地公園「セリオンリスタ」がオープンしました。

また毎年7月20日・21日には土崎神明社の例祭（土崎港曳山まつり）が行われます。

国の重要無形民俗文化財に指定されているこのまつりは土崎の住民のみならず近隣の人達にとっても楽しみな行事となっております。

昨年（2013年）には遷座400年の記念行事が行われ、多くの人で賑わいました。



## 平成25年度施設利用状況

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）



利用者総数：124,797名

内 訳

地域文化ホール利用：21,094名

部 屋 利 用：64,111名

体 育 館 利 用：39,592名

## お知らせ

- 講演会「佐竹本三十六歌仙の流転」について  
日 時：H26年11月22日(土)13:30～15:00  
会 場：キタスカ3階（洋室2・3・4）
- 展示会 模写本「佐竹本三十六歌仙絵巻」二巻  
日 時：H26年11月20日(木)～26日(水)  
10:00～16:00  
会 場：キタスカ1階（展示ホール）

詳しくは電話 846-1133へ

※一日平均 350 名の皆様にご利用いただきました。